

【証券コード：6728】

2015年度 第2四半期（累計） （2015年7月～12月） 決算説明会資料

2016年2月15日
株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q（累計）： 第2四半期連結累計期間

2Q： 第2四半期連結会計期間

年度： 当社会計年度（15年度：15/7～16/6）

市場環境のポイント (1.FPD市場)

- 中小型高精細パネル向けLTPS投資は、14年度下期より日本・中国・台湾で増加。15年度も中国中心に投資継続。
- 有機EL（OLED）については、スマートフォンへの搭載に向け、各パネルメーカーは15年度下期以降投資を活発化する方向。
- 4K8K対応の大型TV向けa-Si投資は、台湾、中国で14年度下期以降再開。
15年度も投資は継続しており、中国中心にサイズの大型化を目指して投資が見込まれる。

市場環境のポイント (2.半導体・電子部品市場)

- 足元の半導体メモリ市場は、PC・スマートフォン向けの需要低迷やメモリ価格の軟調もありほぼ横這いで推移。
今後は、データ記憶容量増加や自動車の電装化・電子機器の高性能化による裾野拡大により緩やかな成長を見込む。
- 足元の半導体製造装置の設備投資は、ほぼ横這いで推移。
今後も地域によりバラツキがあるもののほぼ横這い見込みで、3D化や不揮発性メモリなど新しいテクノロジーに向けた投資需要が見込まれる。
- 電子部品市場は、自動車向け等が堅調でプラス成長維持も、スマートフォンの需要減速などから成長は鈍化傾向。
- 電子部品製造装置は、スマートフォンの需要減速はあるものの、高機能化を支える最先端電子デバイス向け投資は継続を見込む。

市場環境のポイント (3.中国市場)

- FPD関連はパネル供給過剰に対する懸念の声もあるが、当面、国産化の動きが継続する見通し。
- 半導体についても国産化に向けた動きが今後活発化する見込み。
- 但し、一般産業用装置関連は経済成長率鈍化の影響を受けている。

2015年度第2四半期（累計）連結業績概要

2015年度2Q（累計） 連結業績概要

2015年度連結業績予想

売上高：前年同期比21%増。FPD製造装置の増加が大きく寄与。

営業利益：前年同期比116%増。売上高の増加に加え、製造コスト削減努力、比較的収益性の高い改造案件も寄与。

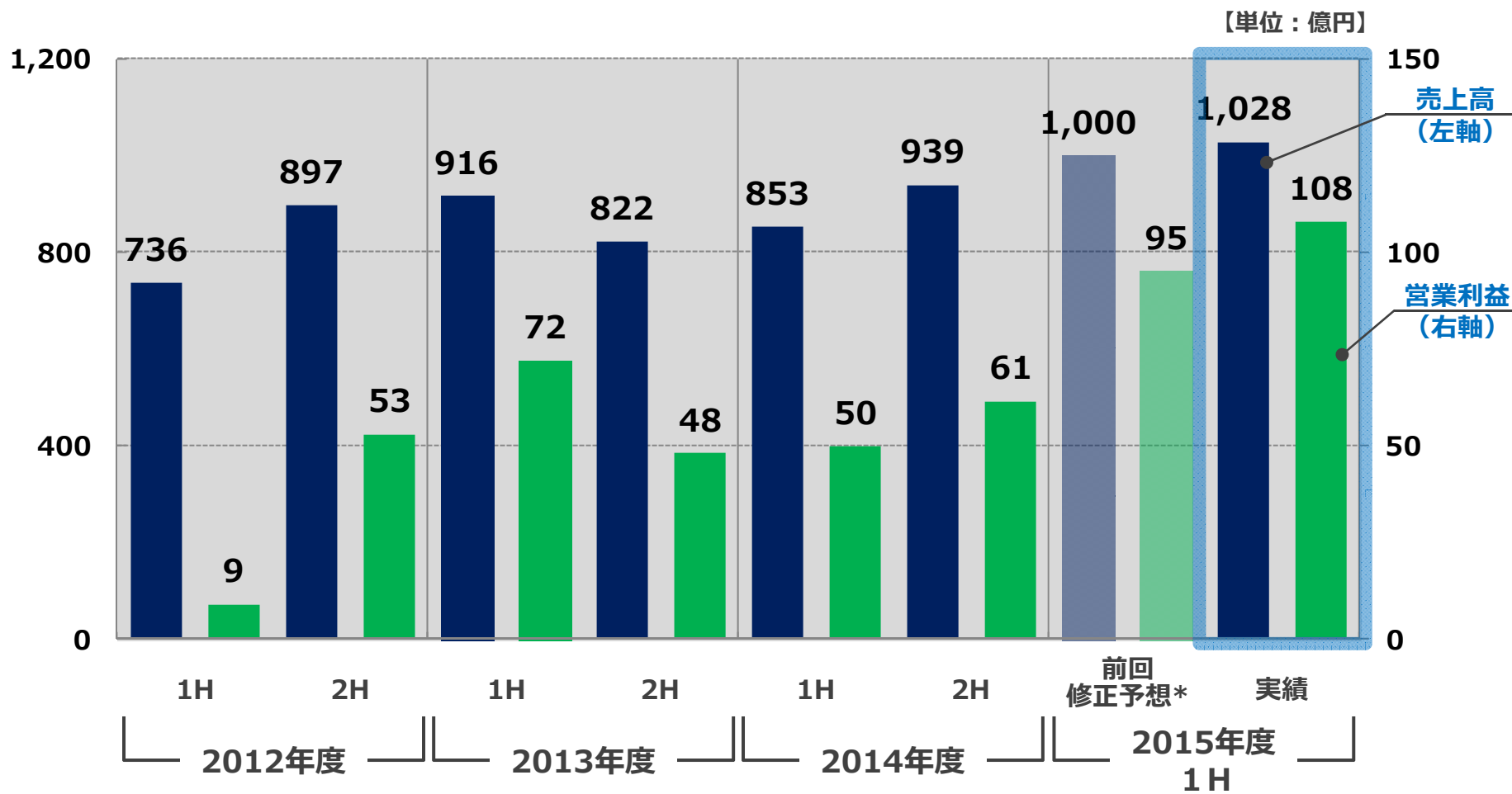
【単位：億円】

	（参考）2014年度実績			2015年度2Q（累計）			
	上期	下期	通期	前回 修正予想*	実績	対前年同期 増減率	前回予想比 増減率
受注高	791	1,036	1,827	1,030	1,060	34.0%	2.9%
売上高	853	939	1,792	1,000	1,028	20.5%	2.8%
売上総利益	204	231	435	-	270	32.5%	-
率	23.9%	24.6%	24.3%	-	26.3%	+ 2.4 pt	-
販管費	154	169	323	-	162	5.4%	-
営業利益	50	61	111	95	108	116.4%	13.5%
率	5.8%	6.5%	6.2%	9.5%	10.5%	+ 4.6 pt	+ 1.0 pt
経常利益	58	67	125	90	107	85.0%	19.1%
率	6.8%	7.1%	7.0%	9.0%	10.4%	+ 3.6 pt	+ 1.4 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	47	89	65	78	86.0%	20.0%
率	4.9%	5.0%	5.0%	6.5%	7.6%	+ 2.7 pt	+ 1.1 pt

*：2015年11月修正予想値

2015年度2Q（累計）連結業績概要 （売上高と営業利益の推移）

2015年度連結業績予想

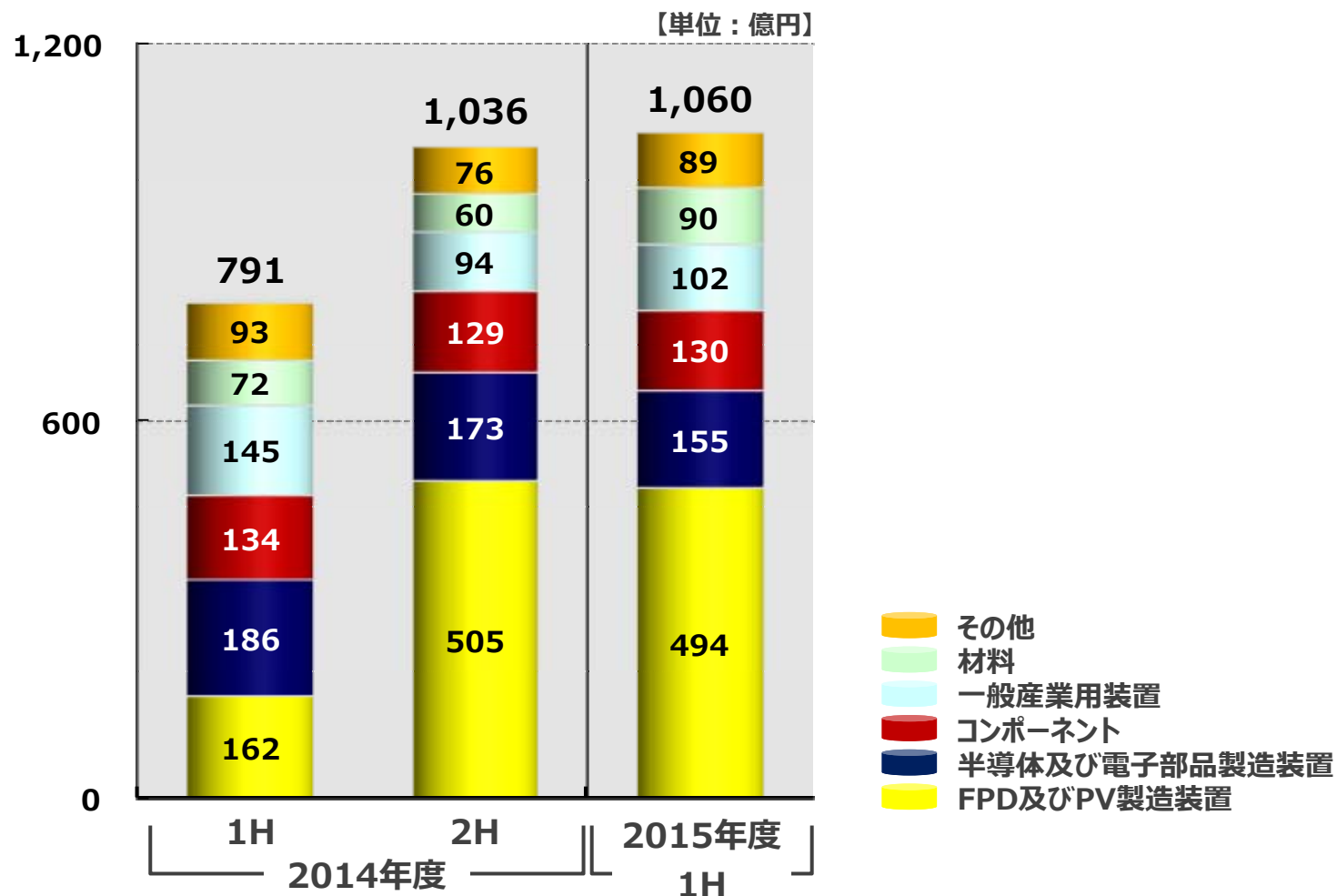


* : 2015年11月修正予想値

2015年度2Q（累計）連結業績概要 （品目別受注高実績）

2015年度連結業績予想

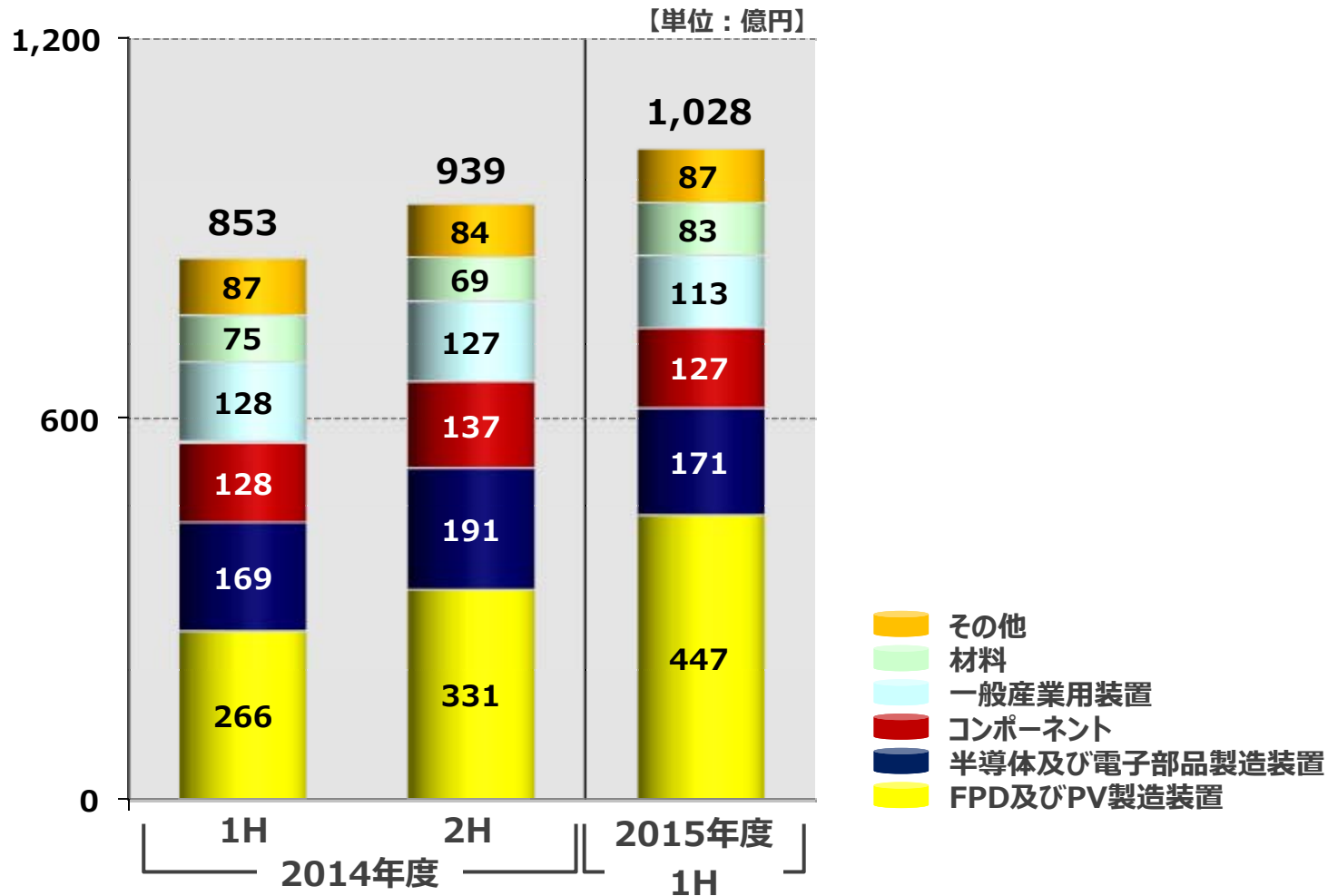
FPD製造装置を中心に前年度下期に続き好調を維持。
また、前年同期がFPD製造装置の受注の端境期であったこともあり、前年同期比では34%増加。



2015年度2Q（累計）連結業績概要 （品目別売上高実績）

2015年度連結業績予想

FPD製造装置の増加等により前年同期比21%増加。
FPD製造装置以外については概ね想定通りに推移。

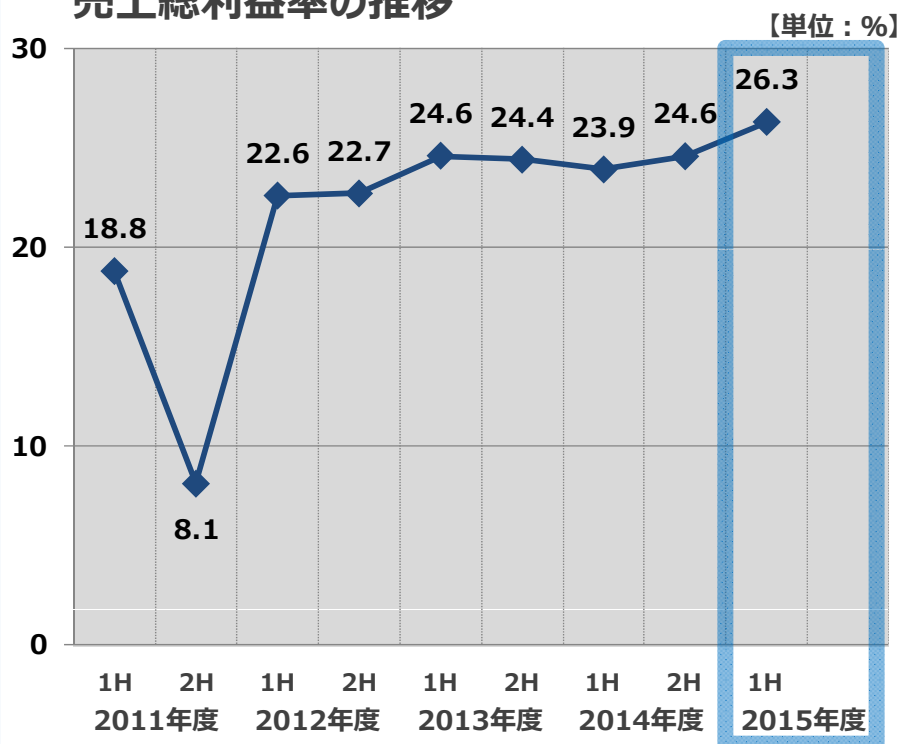


2015年度2Q（累計）連結業績概要 （利益率の推移）

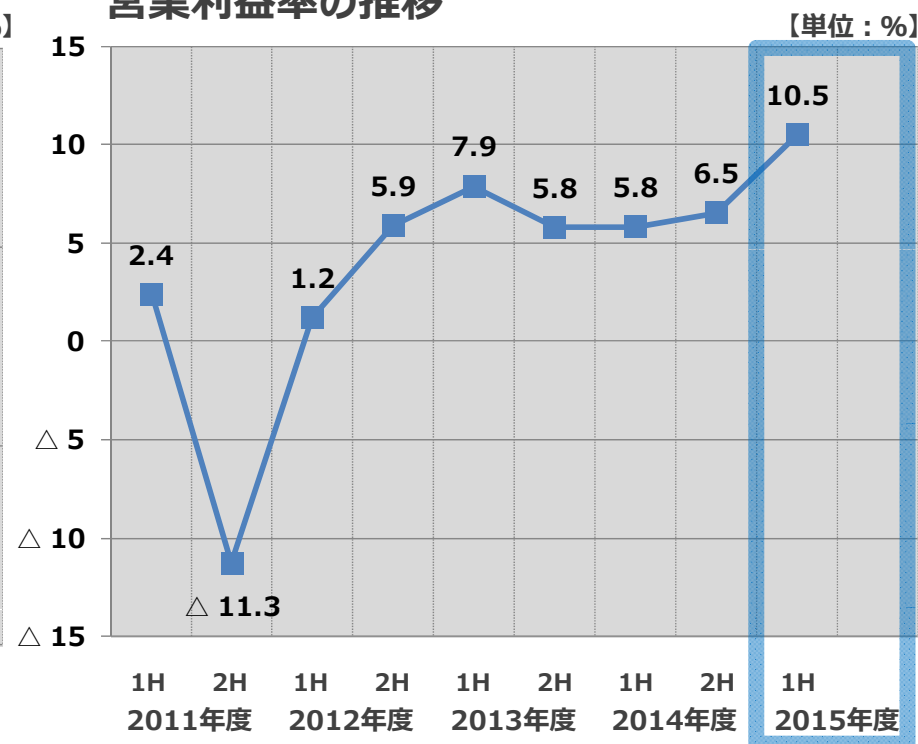
2015年度連結業績予想

売上総利益率、営業利益率ともに上昇。売上高の増加に加え、製造コストの削減努力、比較的収益性の高い改造案件も寄与。

売上総利益率の推移



営業利益率の推移

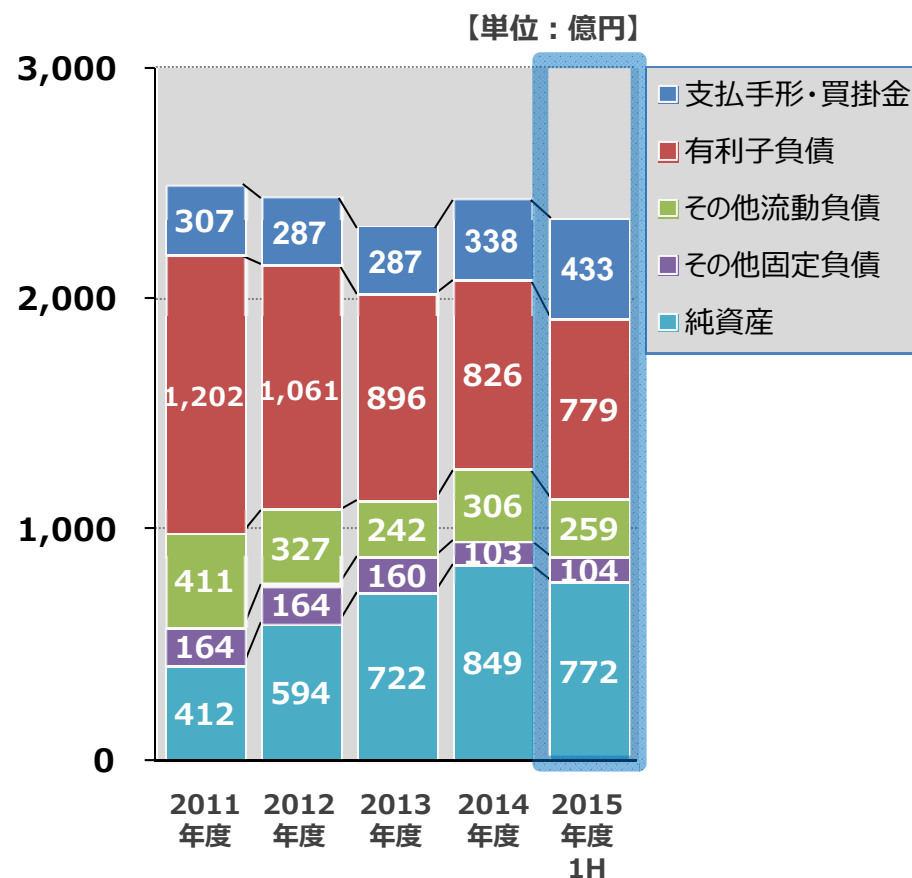
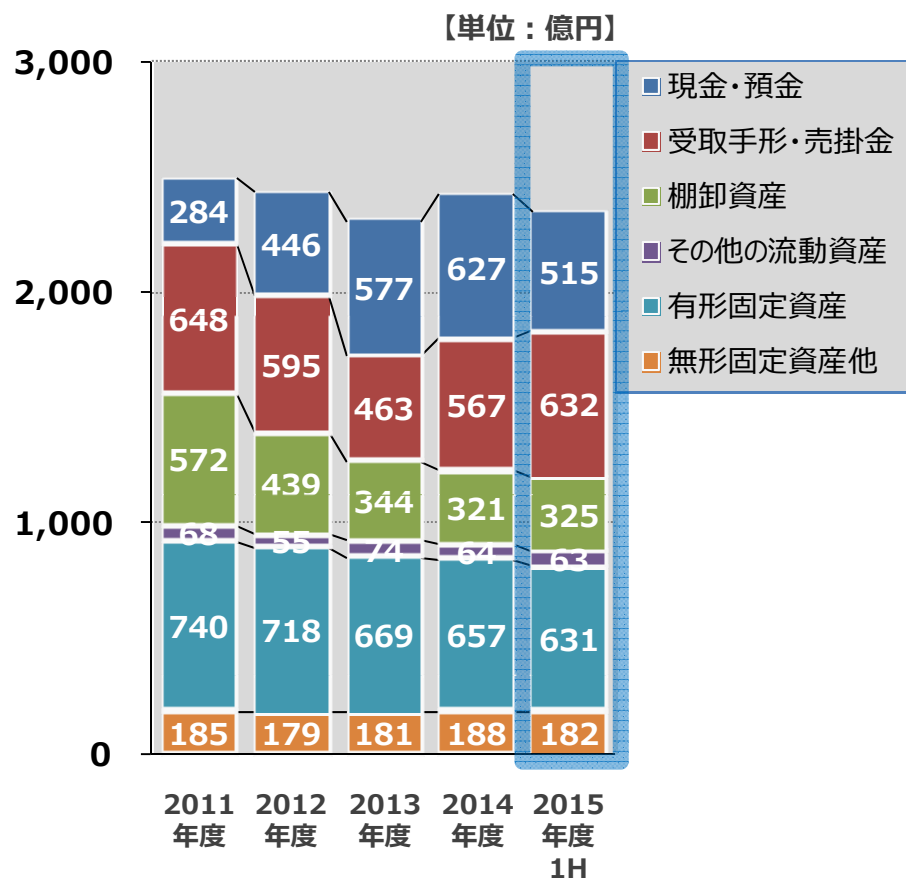


2015年度2Q（累計）連結業績概要 （連結貸借対照表）

2015年度連結業績予想

有利子負債は、削減の取り組みを進め、47億円減少。

純資産は、優先株を全額償還したため減少したが、優先株を除いて見れば自己資本は着実に増加（次頁参照）。

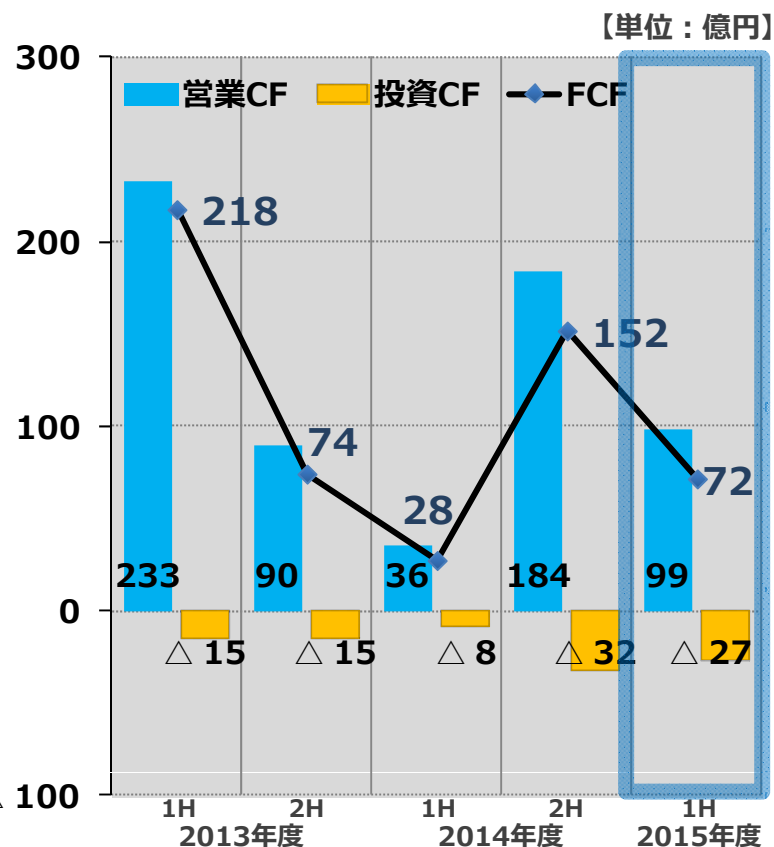
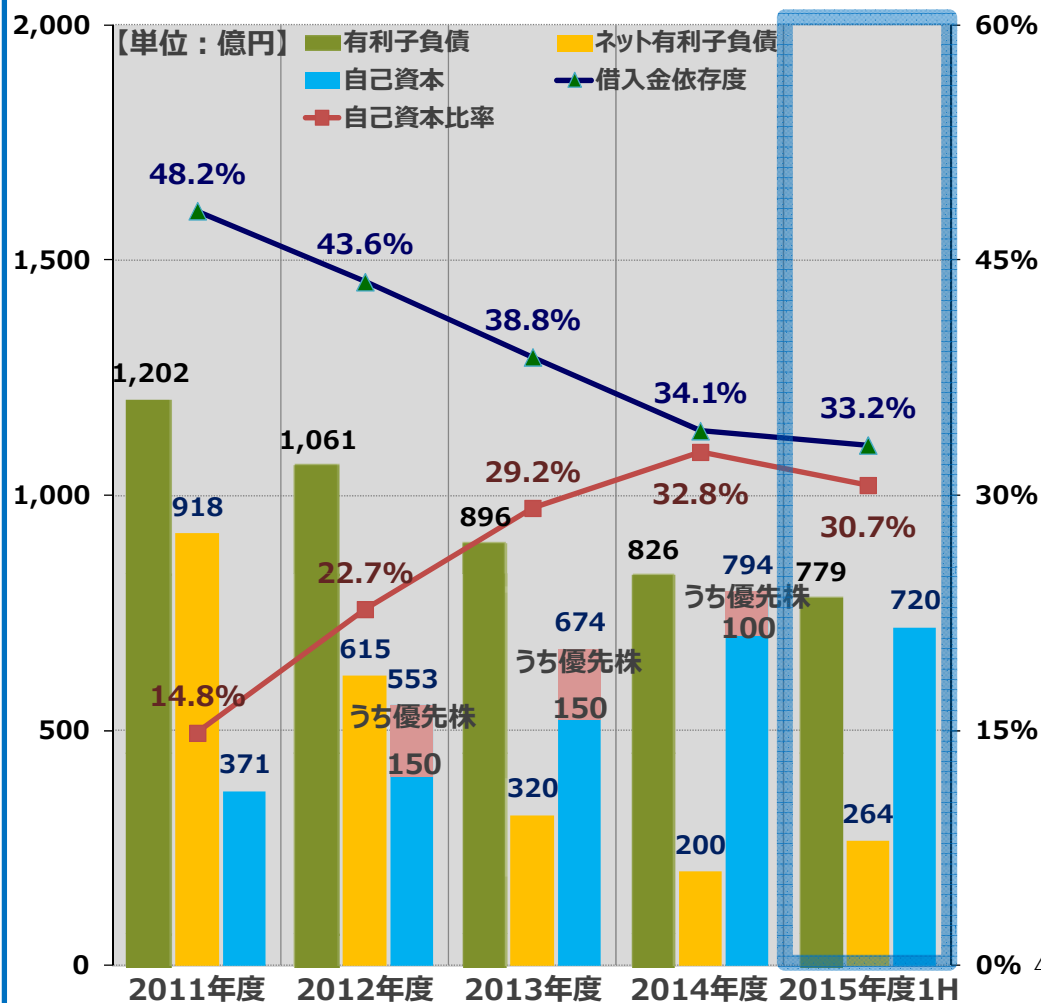


2015年度2Q（累計）連結業績概要 （有利子負債の推移とキャッシュフロー）

2015年度連結業績予想

優先株の全額償還後も自己資本比率30%を維持。有利子負債・借入金依存度も引続き減少。

運転資金の増加抑制等により営業CF99億円、FCF72億円を確保。



2015年度連結業績予想

受注高は上期実績に加え、下期も前回予想比FPD製造装置の増加が見込まれることから上方修正。売上高・利益は、上期実績を踏まえ上方修正。

なお、下期も1,000億円の受注水準を維持するものの、後半に偏ると見込んでいるため、期中の売上高・利益への貢献は上期対比減少するものと予想。

【単位：億円】

	(参考) 2014年度 通期実績	2015年度					
		2Q累計			通期		
		当初予想*1	前回予想*2	実績	当初予想*1	前回予想*2	今回予想
受注高	1,827	990	1,030	1,060	1,900	1,900	2,060
売上高	1,792	970	1,000	1,028	1,900	1,900	1,930
営業利益	111	75	95	108	135	145	160
率	6.2%	7.7%	9.5%	10.5%	7.1%	7.6%	8.3%
経常利益	125	70	90	107	125	130	150
率	7.0%	7.2%	9.0%	10.4%	6.6%	6.8%	7.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	55	65	78	95	100	115
率	5.0%	5.7%	6.5%	7.6%	5.0%	5.3%	6.0%

*1：2015年 8月公表値

*2：2015年11月公表値

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC